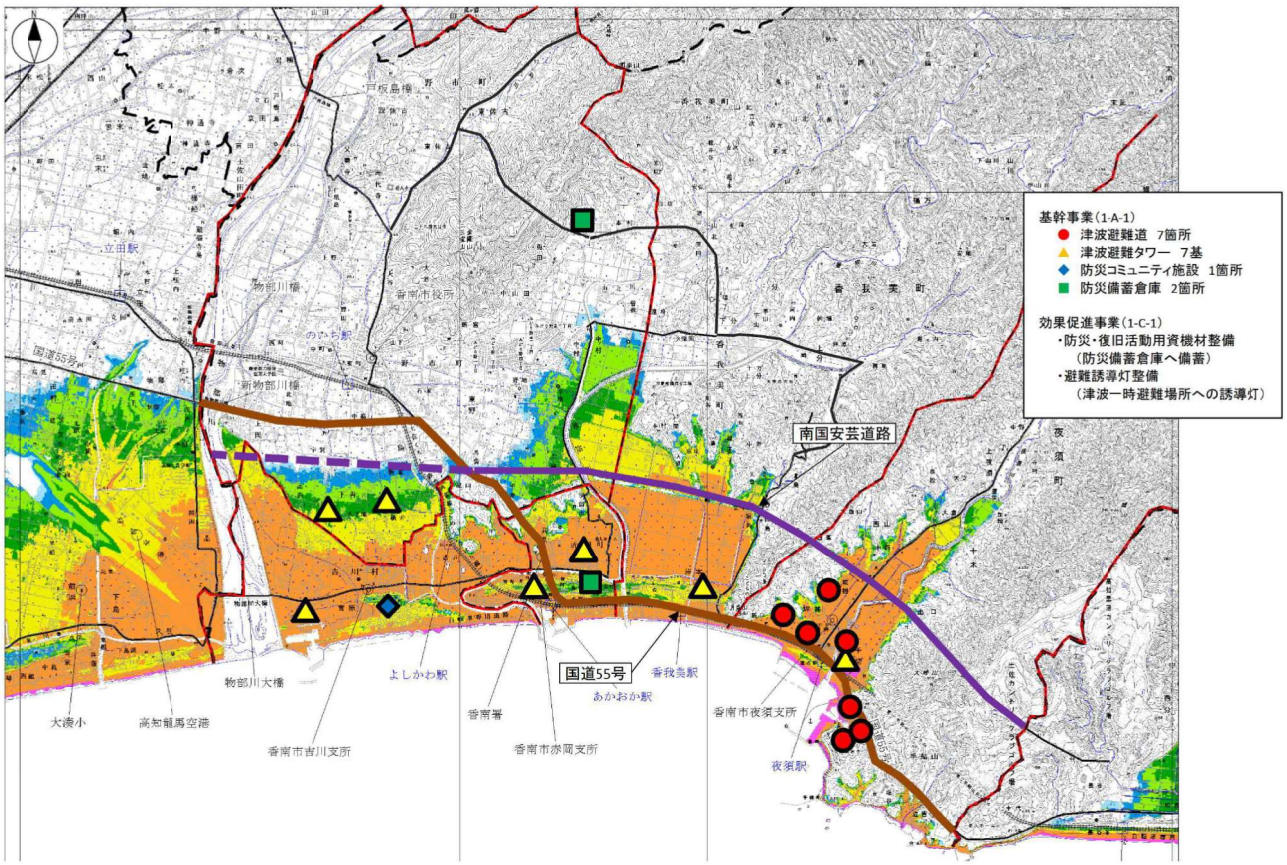
（参考様式3）参考図面（防災・安全交付金）

計画の名称	香南市災害に備えた安心安全なまちづくりの推進（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度 ～ 令和3年度 （5年間）	交付対象	香南市



（表紙）

別添

計画名：香南市災害に備えた安心安全なまちづくりの推進（防災・安全）

都市防災事業計画（第3回変更）

（吉川地区外4地区　都市防災総合推進事業）

高知県香南市

平成29年3月
平成30年1月
平成31年3月
令和2年1月

（様式１）整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

（市域全域及び事業地区（吉川、赤岡、香我美、夜須、野市）における防災上の現状及び課題）

■位置・地勢

香南市は、高知県の中東部、一級河川物部川の下流域に位置し、平成18年３月１日に4町１村（赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村）の合併により発足した、人口33,884人（平成28年４月１日現在）の市である。市域は東西約20km、南北約15km、面積126.5km2で、東西に広がる肥沃な平野部が太平洋に面する南部地域、低山が連なる中で里山環境が広がる中部地域、四国山地の一部を構成する北部地域に大きく分かれている。

■現状と課題

沿岸部では、過去の南海地震による家屋や施設の倒壊をはじめ、津波による多大な被害を被っている。また、近い将来必ず発生する次期南海トラフ地震では、「高知県版第2弾　南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測（平成24年12月10日　高知県）」において、最大震度6強の揺れと最大高さ15mになる津波が想定されており、5町（赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川町）全てが浸水区域となり、特に赤岡町、吉川町はほぼ全域が津波浸水区域となる。このことから、「高知県版　南海トラフ巨大地震による被害想定の概要（平成25年5月15日　高知県）」では、津波による人的被害は死者数2,000人、負傷者160人で、1日後の避難者数が19,000人と非常に厳しい数値となった。また、津波による被害の他にも、住宅が密集している市街地での地震火災、地震に伴う家屋及びブロック塀の倒壊による人的被害並びに津波避難困難状況の発生等が予想される。さらには、地震による揺れはもとより、近年度々発生する集中豪雨に伴う河川の氾濫や土砂災害等により、市街地での浸水被害及び山間部における土砂災害による集落孤立等も懸念される。

このことから香南市では、命を守る対策として、自助対策である住宅耐震化の促進やコンクリートブロック塀の耐震対策を加速させ、共助の観点から、地域の自主防災組織の新たな発足（平成27年度末組織率89.2%）や被災地視察等による育成強化を行い、地域住民の防災意識及び防災力の向上を進めるとともに、津波から避難する高台がない地区における津波一時避難場所（津波避難タワー、津波避難道）の整備をさらに加速し、一日も早い津波避難困難区域の解消に努め、また整備済の津波避難タワー等を活用した避難訓練等を積極的に行うことが重要であると認識している。その他、緊急時における住民への伝達手段として、従来のケーブルテレビ文字放送、メール配信、市ホームページ等に加えて、平成26年度に整備したデジタル防災行政無線を活用するとともに、地域防災を担う消防団の体制充実並びに強化を図ることが求められる。さらには、助かった命をつなげていく施策として、指定避難所となる学校施設や体育館等の耐震化に取り組むとともに、充実した備蓄品の確保を図るため、防災拠点施設（備蓄倉庫）の整備を早急に行うことが課題である。

【整備方針】

（市域全域及び事業地区（吉川、赤岡、香我美、夜須、野市）における防災上の課題解決のための整備方針）

香南市では、平成24年４月に「第一次香南市振興計画後期基本計画」を策定しており、この中で「安心安全で快適なまちづくり」を基本目標とし、その施策として「南海地震対策の充実」に取り組むこととしている。「南海地震対策の充実」においては、津波避難の対策として津波避難施設やデジタル防災行政無線を整備する他、「香南市津波避難計画」の策定や継続した避難訓練の実施、さらには住宅耐震化の促進、自主防災組織の活性化等、ハードに限らずソフト面も併せて促進することとしている。また、「消防・防災体制の充実」では、地域の防災拠点となる消防屯所等の基盤強化、.消防団の研修や訓練を強化し、地域の消防力の向上を目指すとともに、土砂災害対策の推進、避難場所や避難道、緊急輸送道路の整備を促進し、防災基盤の強化を図ることとしている。平成26年９月に修正した「香南市地域防災計画」にも、最大クラスの津波に対応する津波避難タワー等の整備を位置づけするとともに、振興計画を基本としたあらゆる防災基盤の強化、充実を図ることとしている。

平成24年度には「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」による津波浸水区域の住民を対象に、津波から命を守る対策についてワークショップを行い、平成25年３月に「香南市津波避難計画」及び5町毎の「同地域計画」を策定した。その中では、情報伝達の確認及び防災啓発の重要性を再認識したうえで、津波避難対象区域の設定、避難場所や避難経路の現状と課題を確認し、津波一時避難施設の場所選定を検討している。

香南市では、住民の命を守るため、地震・津波対策を最重要かつ最優先課題に掲げ、各施策の取り組みを続けている。津波対策については、津波避難困難区域の解消を図るため、市内で全21基の津波避難タワーを計画しており、そのうち当市が整備する19基のうち12基が平成27年度末時点で整備され、平成28年度は3基の整備を予定している。平成29年度以降においては、残り4基の整備を実施し、高知県が整備する2基の津波避難タワーと合わせて早期の津波避難困難区域の解消を図る。また、吉川地区においてはほぼ全域が津波浸水想定区域であるため、防災学習や防災訓練等を行うことで地域防災力の向上を目的とし、かつ避難所を兼ね備えた防災コミュニティ施設の整備を行う。さらには、市指定津波避難場所への円滑かつ確実な避難行動を確保するため、津波避難道の整備を行う。

地震対策としては、住宅耐震化、ブロック塀耐震対策及び家具固定対策を継続して促進していくとともに、住民の防災意識の向上を図るため、継続した防災訓練を行うとともに、自主防災組織や地域の防災リーダーの育成を行い、ハード及びソフト両面での対策により、住民の命を守る取り組みを進めていく。

同時に、命をつなぐ対策として、防災拠点施設となる備蓄倉庫の整備に取り組むこととする。備蓄倉庫は津波浸水区域外の安全が確保された場所に整備し、被害想定を見極めたうえでの計画的な備蓄品の確保と、避難所への円滑な配給計画を構築する。

その他、指定避難所への飲料用水確保のための耐震性貯水槽整備や貯留式災害用トイレ整備の実施、耐震性貯水槽の整備、救助用を含む防災資機材の充実、整備された津波一時避難施設への誘導サイン及び誘導灯の整備についても、計画的に順次整備を行っていく。

（様式２）計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	高知県	市町村名	香南市	計画期間	平成29年度～令和3年度 平成29年度～令和3年度
担当部局名	一　部(局) 防災対策　課 防災交通安全　係	担当者	(正)　足達　剛 (副)　除本　美祐二	連絡先	TEL　0887-57-8501 FAX　0887-56-0576 e-mail　bousai@city.kochi-konan.lg.jp

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積（ha）	都市防災総合推進事業における事業期間 開始年度	終了年度	補助率	補助事業費（予定）額 （参考）事業費	（参考）国費
地区公共	地区公共施設整備	香南市	夜須地区 津波避難道［福島第2］　ΣN=1箇所　L=52m　W=1.0m	1.5	平成29年度	平成29年度	1／2	7.0 7.0	3.5 3.5
			夜須地区 津波避難道［手結南］　ΣN=1箇所　L=36m　W=1.5～2.6m	1.4	平成29年度	平成29年度	1／2	5.0 5.0	2.5 2.5
			夜須地区 津波避難道［坪井神社］　ΣN=1箇所　L=80m　W=1.5m	1.4	平成30年度	令和1年度	1／2	14.0 14.0	7.0 7.0
			夜須地区 津波避難道［手結北］　ΣN=1箇所　L=30m　W=1.0m	2.0	平成31年度	令和2年度	1／2	9.0 7.0	4.5 3.5
			夜須地区 津波避難道［坪井］　ΣN=1箇所　L=20m　W=1.5m	2.5	平成31年度	令和2年度	1／2	6.0 6.0	3.0 3.0
			夜須地区 津波避難道［観音山］　ΣN=1箇所　L=30m　W=1.5m	2.5	平成32年度	令和3年度	1／2	9.0 9.0	4.5 4.5
			夜須地区 津波避難道［千切］　ΣN=1箇所　L=70m　W=1.5m	1.0	令和2年度	令和2年度	1／2	－ 30.0	－ 15.0
			吉川地区外4地区 耐震性貯水槽　N=25箇所	164.0	令和2年度	令和3年度	1／2	－ 106.0	－ 53.0
			吉川地区外4地区 貯留式災害用トイレ　N=25箇所	164.0	令和2年度	令和3年度	1／2	－ 106.0	－ 53.0
	防災まちづくり拠点施設	香南市	吉川地区（津波避難タワー） ⑨吉川町浜口西部　N=1基	6.5	平成32年度	令和3年度	2／3	195.9 13.2	130.6 8.8
			赤岡地区（津波避難タワー） ⑬赤岡町南町　N=1基	9.1	平成30年度	平成30年度	2／3	12.0 12.0	8.0 8.0
			赤岡地区（津波避難タワー） ⑳赤岡町別所山　N=1基	5.0	令和2年度	令和3年度	2／3	－ 260.1	－ 173.4
			香我美地区（津波避難タワー） ⑮香我美町岸本10区　N=1基	6.4	平成30年度	平成30年度	2／3	9.0 9.0	6.0 6.0
			夜須地区（津波避難タワー） ⑪夜須町第6地区東部　N=1基	3.3	平成30年度	令和2年度	2／3	219.9 218.4	146.6 145.6
			野市地区（津波避難タワー） ⑱野市町下井　N=1基	105	平成31年度	令和3年度	2／3	268.2 262.2	178.8 174.8
			野市地区（津波避難タワー） ⑲野市町横井　N=1基	105	平成30年度	平成31年度	2／3	199.5 199.5	133.0 133.0
			吉川地区 吉川町防災コミュニティ施設　N=1箇所	425	平成29年度	平成30年度	1／2	266.4 266.4	133.2 133.2
			野市地区 野市町防災備蓄倉庫　N=1箇所（346㎡）	2,290	平成29年度	平成29年度	1／2	94.0 94.0	47.0 47.0
			赤岡地区 赤岡町防災備蓄倉庫　N=1箇所（150㎡）	164	平成32年度	令和3年度	1／2	22.0 5.0	11.0 2.5
合計								1,336.9 1,629.8	819.2 977.3

注）補助事業費について百万円単位。

注）該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

（様式３）関連事業［都市防災上の課題解決に関連する事業］

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模（面積、延長、幅員等）	総事業費（国費ベース）	事業期間		事業実施状況	重点密集市街地の有無
					開始年度	終了年度		
都市防災総合推進事業	香南市	香南地区	デジタル防災行政無線（1,048.5百万円） 親局、可搬式親局装置、遠隔制御設備、中継局、再送信子局、子局	1,048.5 （524.2）	H24	H26	H27.12運用開始	無
社会資本整備総合交付金C事業（効果促進事業）	香南市	香南地区	防災・復旧活動用資機材整備 （その１）防災・復旧活動用資機材整備 （その２）避難誘導灯整備	80.1 （40.1）	H29	R3	指定避難所における避難者の生活と健康を守る資機材整備を行う。 津波避難場所への安全確実な避難行動を確保する誘導灯整備を行う。	無
木造住宅耐震化事業	香南市	香南地区	耐震診断988棟、耐震設計368棟、耐震工事367棟 （平成27年度末時点）	470.2 （235.1）	H16	H30	昭和56年5月以前に建築された住宅耐震化	無
県営農村地域防災減災事業	高知県	香南地区	津波避難タワー（2基）	500.0 （333.3）	H27	H29		無
緊急防災・減災事業他	香南市	香南地区	避難道（16路線、115.3百万円）	115.4 （8.6）	H24	H28	16路線の避難道を緊急防災・減災事業、都市防災、県補助金で整備済	無
市役所新庁舎建設事業	香南市	香南地区	地上7階建　延床面積約7,800㎡　免震構造	4,780.0 （0.0）	H28	H31	H28年度より基本計画を実施	無
橋梁耐震化事業	香南市	香南地区	橋梁耐震化（4橋、H25設計、H26～H28工事）	120.0 （60.0）	H25	H28	避難経路上にある耐震化を要する橋梁を対象	無
地域集会所耐震化促進事業	香南市	香南地区	地域集会所耐震化（5施設）	11.0 （0.0）	H27	H27	津波浸水区域外で地域防災拠点に位置づけする地域集会所が対象	無

注）　総事業費について百万円単位。

（様式４）年度別事業計画

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名 整備内容	重点密集市街地	補助率	H29	H30	R1	R2	R3	計
地区公共施設等整備	地区公共施設	香南市	夜須地区 津波避難道［福島第２］　ΣN=1箇所　L=52m　W=1.0m	×	1／2	3.5 3.5	－ －	－ －	－ －	－ －	3.5 3.5
			夜須地区 津波避難道［手結南］　ΣN=1箇所　L=36m　W=1.5～2.6m	×	1／2	2.5 2.5	－ －	－ －	－ －	－ －	2.5 2.5
			夜須地区 津波避難道［坪井神社］　ΣN=1箇所　L=80m　W=1.5m	×	1／2	－ －	1.0 1.0	6.0 6.0	－ －	－ －	7.0 7.0
			夜須地区 津波避難道［手結北］　ΣN=1箇所　L=30m　W=1.0m	×	1／2	－ －	－ －	1.0 －	3.5 3.5	－ －	4.5 3.5
			夜須地区 津波避難道［坪井］　ΣN=1箇所　L=20m　W=1.5m	×	1／2	－ －	－ －	0.5 －	2.5 3.0	－ －	3.0 3.0
			夜須地区 津波避難道［観音山］　ΣN=1箇所　L=30m　W=1.5m	×	1／2	－ －	－ －	－ －	1.0 1.0	3.5 3.5	4.5 4.5
			夜須地区 津波避難道［千切］　ΣN=1箇所　L=70m　W=1.5m	×	1／2	－ －	－ －	－ －	－ 15.0	－ －	－ 15.0
			吉川地区外3地区 耐震性貯水槽　N=25箇所	×	1／2	－ －	－ －	－ －	－ 26.5	－ 26.5	－ 53.0
			吉川地区外3地区 貯留式災害用トイレ　N=25箇所	×	1／2	－ －	－ －	－ －	－ 26.5	－ 26.5	－ 53.0
	防災まちづくり拠点施設		吉川地区（津波避難タワー） ⑨吉川町浜口西部　N=1基	×	2／3	－ －	－ －	－ －	8.8 －	121.8 8.8	130.6 8.8
			赤岡地区（津波避難タワー） ⑬赤岡町南町　N=1基	×	2／3	－ －	8.0 8.0	－ －	－ －	－ －	8.0 8.0
			赤岡地区（津波避難タワー） ⑳赤岡町別所山　N=1基	×	2／3	－ －	－ －	－ －	－ 11.0	－ 162.4	－ 173.4
			香我美地区（津波避難タワー） ⑮香我美町岸本10区　N=1基	×	2／3	－ －	6.0 6.0	－ －	－ －	－ －	6.0 6.0
			夜須地区（津波避難タワー） ⑰夜須町第6地区東部　N=1基	×	2／3	－ －	8.8 8.8	132.8 132.8	5.0 4.0	－ －	146.6 145.6
			野市地区（津波避難タワー） ⑱野市町下井　N=1基	×	2／3	－ －	－ －	10.0 －	163.8 11.0	5.0 163.8	178.8 174.8
			野市地区（津波避難タワー） ⑲野市町横井　N=1基	×	2／3	－ －	131.8 131.8	1.2 1.2	－ －	－ －	133.0 133.0
			吉川地区 吉川町防災コミュニティ施設　N=1箇所	×	1／2	127.2 127.2	6.0 6.0	－ －	－ －	－ －	133.2 133.2
			野市地区 野市町防災備蓄倉庫　N=1箇所（346㎡）	×	1／2	47.0 47.0	－ －	－ －	－ －	－ －	47.0 47.0
			赤岡地区 赤岡町防災備蓄倉庫　N=1箇所（150㎡）	×	1／2	－ －	－ －	－ －	2.5 －	8.5 2.5	11.0 2.5
合計						180.2 180.2	161.6 161.6	151.5 140.0	187.1 101.5	138.8 394.0	819.2 977.3

（様式5）年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H29	H30	R1	R2	R3	計
吉川地区	津波避難タワー N=1基 （⑨吉川町浜口西部津波避難タワー）	用地以外	2/3	－ －	－ －	－ －	8.0 －	121.8 8.0	129.8 8.0
		用地	2/3	－ －	－ －	－ －	0.8 －	－ 0.8	0.8 0.8
	吉川町防災コミュニティ施設 N=1箇所	用地以外	1/2	127.2 127.2	6.0 6.0	－ －	－ －	－ －	133.2 133.2
赤岡地区	津波避難タワー N=1基 （⑬赤岡町南町津波避難タワー）	用地以外	2/3	－ －	8.0 8.0	－ －	－ －	－ －	8.0 8.0
	津波避難タワー N=1基 （⑳赤岡町別所山津波避難タワー）	用地以外	2/3	－ －	－ －	－ －	－ 8.4	－ 162.4	－ 170.8
		用地	2/3	－ －	－ －	－ －	－ 2.6	－ －	－ 2.6
	備蓄倉庫 N=1箇所	用地以外	1/2	－ －	－ －	－ －	2.5 －	8.5 2.5	11.0 2.5
香我美地区	津波避難タワー N=1基 （⑮香我美町岸本10区津波避難タワー）	用地以外	2/3	－ －	6.0 6.0	－ －	－ －	－ －	6.0 6.0
夜須地区	夜須地区 津波避難道［福島第2］ ΣN=1箇所 L=52m W=1.0m	用地以外	1/2	3.5 3.5	－ －	－ －	－ －	－ －	3.5 3.5
	夜須地区 津波避難道［手結南］ ΣN=1箇所 L=36m W=1.5～2.6m	用地以外	1/2	2.5 2.5	－ －	－ －	－ －	－ －	2.5 2.5
	夜須地区 津波避難道［坪井神社］ ΣN=1箇所 L=80m W=1.5m	用地以外	1/2	－ －	1.0 1.0	6.0 6.0	－ －	－ －	7.0 7.0
	夜須地区 津波避難道［手結北］ ΣN=1箇所 L=30m W=1.0m	用地以外	1/2	－ －	－ －	1.0 －	3.5 3.5	－ －	4.5 3.5
	夜須地区 津波避難道［坪井］ ΣN=1箇所 L=20m W=1.5m	用地以外	1/2	－ －	－ －	0.5 －	2.5 3.0	－ －	3.0 3.0
	夜須地区 津波避難道［観音山］ ΣN=1箇所 L=30m W=1.5m	用地以外	1/2	－ －	－ －	－ －	1.0 1.0	3.5 3.5	4.5 4.5
	夜須地区 津波避難道［千切］ ΣN=1箇所 L=70m W=1.5m	用地以外	1/2	－ －	－ －	－ －	－ 15.0	－ －	－ 15.0
	津波避難タワー N=1基 （⑰夜須町第6地区東部津波避難タワー）	用地以外	1/2 2/3	－ －	8.0 8.0	132.8 132.8	5.0 4.0	－ －	145.8 144.8
		用地	1/3 2/3	－ －	0.8 0.8	－ －	－ －	－ －	0.8 0.8
野市地区	津波避難タワー N=1基 （⑱野市町下井津波避難タワー）	用地以外	2/3	－ －	－ －	8.0 －	163.8 8.4	5.0 163.8	176.8 172.2
		用地	2/3	－ －	－ －	2.0 －	－ 2.6	－ －	2.0 2.6
	津波避難タワー N=1基 （⑲野市町横井津波避難タワー）	用地以外	2/3	－ －	131.8 131.8	1.2 1.2	－ －	－ －	133.0 133.0
	備蓄倉庫 N=1箇所	用地以外	1/2	47.0 47.0	－ －	－ －	－ －	－ －	47.0 47.0
吉川地区外3地区	耐震性貯水槽 N=25箇所	用地以外	1/2	－ －	－ －	－ －	－ 26.5	－ 26.5	－ 53.0
	貯留式災害用トイレ N=25箇所	用地以外	1/2	－ －	－ －	－ －	－ 26.5	－ 26.5	－ 53.0
			合計	133.2 180.2	161.6 161.6	151.5 140.0	187.1 101.5	138.8 394.0	819.2 977.3

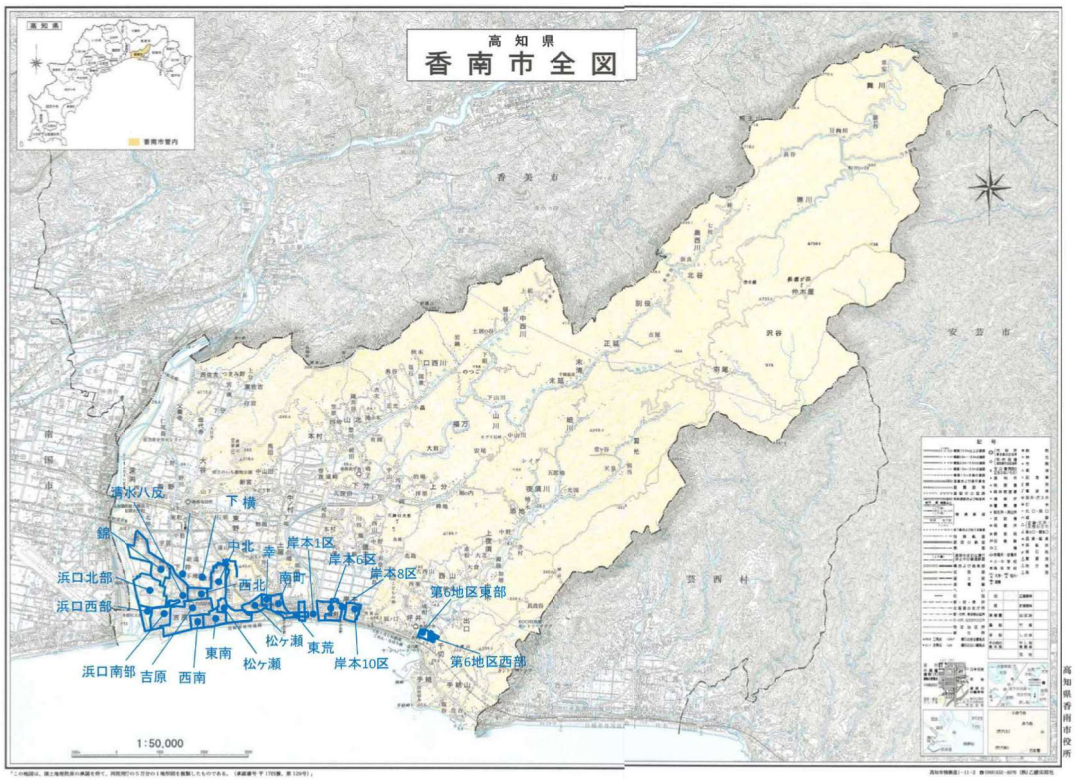
○用地取得面積

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【㎡単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	H29	H30	H31	H32	H33	計
吉川地区	津波避難タワー N=1基 （⑨吉川町浜口西部津波避難タワー）	用地	2/3		600.0 －		－ 600.0		600.0 600.0
赤岡地区	津波避難タワー N=1基 （⑳赤岡町別所山津波避難タワー）	用地	2/3				－ 600.0		－ 600.0
夜須地区	津波避難タワー N=1基 （⑰夜須町第6地区東部津波避難タワー）	用地	1/3 2/3		600.0 600.0				600.0 600.0
野市地区	津波避難タワー N=1基 （⑱野市町下井津波避難タワー）	用地	2/3	600.0 －		－ 600.0			600.0 600.0

（様式6） 現況図 等 ［高知県香南市 津波避難困難者ゼロプログラム］（全体図）

地区名	吉川地区外4地区	面積	557.2ha	避難困難者数	8，404人	区域	香南市津波避難困難地域



（様式6） 現況図 等 ［高知県香南市 津波避難困難者ゼロプログラム］（1／5）

地区名	吉川地区	面積	301.6ha	避難困難者数	2，893人	区域	香南市吉川町

1．津波避難困難者の解消計画

	地区名称	地区面積 (ha)	避難困難者数 (人)	避難困難者解消目標年度									
				H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	浜口南部	14.8	128	0	0	128	-	-	-	-	-	-	-
2	清水八反	23.0	201	0	0	201	-	-	-	-	-	-	-
3	西北	8.7	421	0	0	421	-	-	-	-	-	-	-
4	西南	3.6	122	0	0	122	-	-	-	-	-	-	-
5	東南	12.5	309	0	0	309	-	-	-	-	-	-	-
6	中北	22.0	180	0	0	180	-	-	-	-	-	-	-
7	錦	25.1	169	0	0	0	169	-	-	-	-	-	-
8	松ケ瀬	13.3	77	0	0	0	0	0	77	-	-	-	-
9	浜口西部	6.5	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	浜口北部	35.9	90	0	0	0	0	0	0	90	-	-	-
11	古川	79.3	256	0	0	0	256	-	-	-	-	-	-
12	吉原	23.5	440	0	0	440	-	-	-	-	-	-	-
13	吉川地区防災コミュニティセンター	33.4	460	0	0	0	0	0	0	460	-	-	-
計		301.6	2893	0	0	1801	425	0	77	550	0	0	0

2．津波避難施設の整備計画

	地区名称	整備内容	避難困難者解消目標年度										事業費 (百万円)	国費 (百万円)	備考
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
1	浜口南部	津波避難タワー	設計	設計・工事	工事								370.0	169.0	1. 浜口南部タワー工事費は浜口西部と浜口北部と共に計上
2	清水八反	津波避難タワー		設計	工事								190.7	93.1	
3	西北	津波避難タワー	設計	設計・工事	工事								15.7	7.5	2. 西北タワー工事費は清水八反タワー工事費と共に計上
4	西南	津波避難タワー	設計	設計・工事	工事								143.7	71.8	
5	東南	津波避難タワー	設計	設計・工事	工事								369.1	184.3	4. 中北タワー工事費は浜口西部と共に計上
6	中北	津波避難タワー	設計	設計・工事	工事								13.3	6.6	5. 錦タワー工事費は浜口西部と共に計上
7	錦	津波避難タワー		設計	工事	工事							464.5	232.2	6. 古川地区防災コミュニティセンター工事費は浜口西部と共に計上
8	松ケ瀬	津波避難タワー			設計		工事	工事					138.2	91.2	
9	浜口西部	津波避難タワー										設計	195.9	139.6	
10	浜口北部	津波避難タワー					設計	工事	工事				259.5	173.0	農村地域防災減災事業
11	古川	津波避難建屋			設計	工事							6.0	－	緊急防災・減災事業債
12	吉原	津波避難ビル及び階段		設計	工事								65.0	32.5	
13	吉川地区防災コミュニティセンター	防災コミュニティ					設計	工事	工事				605.6	133.2	

津波避難困難地域 概要図（香南市 吉川地区）

（様式6） 現況図 等 ［高知県香南市 津波避難困難者ゼロプログラム］（2／5）

地区名	赤岡地区	面積	40.8ha	避難困難者数	1,971人	区域	香南市赤岡町

1．津波避難困難者の解消計画

	地区名称	地区面積 (ha)	避難困難者数 (人)	避難困難者解消目標年度									
				H24	H25	H26	H27	H28	H29	R1	R1	R2	R3
1	松ケ瀬	12.7	487	0	0	0	487	-	-	-	-	-	-
2	幸	5.4	236	0	0	0	236	-	-	-	-	-	-
3	東荒	6.7	277	0	0	0	277	-	-	-	-	-	-
4	南町	9.1	416	0	0	0	0	0	416	-	-	-	-
5	高見・一本松	1.8	184	0	111	-	-	-	-	-	-	-	-
6	高見・一本松			0	0	73	-	-	-	-	-	-	-
7	別所山	5.1	371	0	0	0	0	0	0	0	0	0	371
計		40.8	1971	0	111	73	1000	0	416	0	0	0	371

2．津波避難施設の整備計画

	地区名称	整備内容	避難困難者解消目標年度										事業費 (百万円)	国費 (百万円)	備考
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
1	松ケ瀬	津波避難タワー	設計	設計・工事	工事								10.6	9.3	7. 赤岡地区整備タワー1階部分は施設に集約
2	幸	津波避難タワー	設計	設計	工事								651.5	325.8	3. 幸・1 階部分は防災倉庫を含む工事費は共に計上
3	東荒	津波避難タワー		設計・工事	工事								10.5	9.2	2. 幸・1 階部分は防災倉庫を含む工事費は共に計上
4	南町	津波避難タワー					設計	設計・工事	工事				351.6	219.9	
5	高見・一本松	津波避難道		設計・工事									4.5	－	緊急防災・減災事業債
6	高見・一本松	津波避難道			設計・工事								7.8	－	緊急防災・減災事業債
7	別所山	津波避難タワー									設計	工事	283.4	175.6	

津波避難困難地域 概要図（香南市 赤岡地区）

（様式6） 現況図 等 ［高知県香南市 津波避難困難者ゼロプログラム］（3／5）

地区名	香我美地区	面積	46.7ha	避難困難者数	1,456人	区域	香南市香我美町

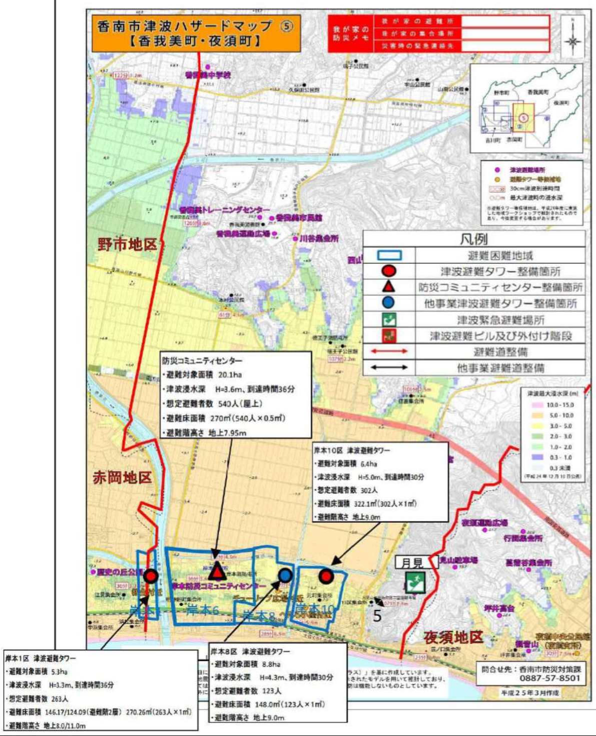
1. 津波避難困難者の解消計画

	地区名称	地区面積 (ha)	避難困難者数 (人)	避難困難者解消目標年度									
				H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	岸本1区	5.3	263	0	0	0	263	-	-	-	-	-	-
2	岸本10区	6.4	302	0	0	0	0	0	302	-	-	-	-
3	岸本8区	8.8	123	0	0	0	0	0	123	-	-	-	-
4	岸本地区防災コミュニティセンター	20.1	540	0	540	-	-	-	-	-	-	-	-
5	月見山	6.1	228	228	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計		46.7	1456	228	540	0	263	0	425	0	0	0	0

2. 津波避難施設の整備計画

	地区名称	整備内容	避難困難者解消目標年度										事業費 (百万円)	国費 (百万円)	備考
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
1	岸本1区	津波避難タワー		設計	設計・工事	工事							227.9	111.9	
2	岸本10区	津波避難タワー				設計	設計・工事	工事					262.4	176.6	
3	岸本8区	津波避難タワー				設計	設計・工事	工事					197.0	173	農村地域防災減災事業
4	岸本地区防災コミュニティセンター	津波避難タワー	設計・工事	工事									180.8	90.4	
5	月見山	津波避難道	設計・工事										4.9	–	緊急防災・減災事業債

津波避難困難地域 概要図（香南市 香我美地区）



（様式6） 現況図 等 ［高知県香南市 津波避難困難者ゼロプログラム］（4／5）

地区名	夜須地区	面積	46.1ha	避難困難者数	1,781人	区域	香南市夜須町

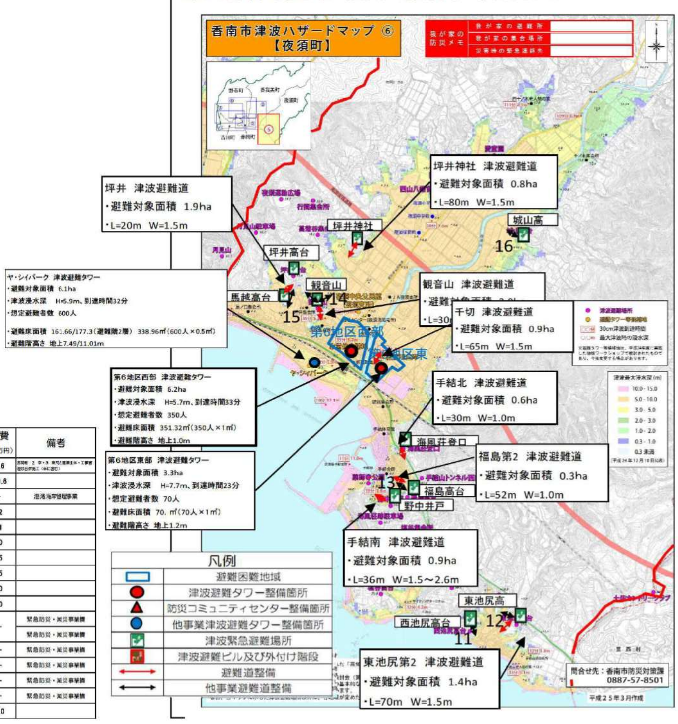
1. 津波避難困難者の解消計画

	地区名称	地区面積 (ha)	避難困難者数 (人)	避難困難者解消目標年度									
				H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	第6地区西部	6.2	350	0	0	350	-	-	-	-	-	-	-
2	第6地区東部	3.3	70	0	0	0	0	0	0	0	0	70	-
3	ヤ・シイパーク	6.1	600	0	0	0	0	0	600	-	-	-	-
4	東池尻第2	1.4	33	0	0	0	33	-	-	-	-	-	-
5	手結南	0.9	35	0	0	0	0	0	35	-	-	-	-
6	福島第2	0.3	63	0	0	0	0	0	63	-	-	-	-
7	手結北	0.6	55	0	0	0	0	0	0	0	0	55	-
8	観音山	3.0	170	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
9	坪井神社	0.8	39	0	0	0	0	0	0	0	39	-	-
10	坪井	1.9	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35	-
11	西池尻	0.7	17	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	東池尻	0.7	26	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	福島	0.3	19	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	観音山	1.1	29	0	0	29	-	-	-	-	-	-	-
15	坪井	1.9	35	0	0	35	-	-	-	-	-	-	-
16	城山	16.0	134	134	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	千切	0.9	71	0	0	0	0	0	0	0	0	71	-
計		46.1	1781	196	0	414	33	0	698	0	39	160	170

2. 津波避難施設の整備計画

	地区名称	整備内容	避難困難者解消目標年度										事業費 (百万円)	国費 (百万円)	備考
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3			
1	第6地区西部	津波避難タワー		設計	設計・工事	工事							39.3	19.6	[illegible]
2	第6地区東部	津波避難タワー							設計	設計・工事	工事		219.9	146.6	
3	ヤ・シイパーク	津波避難タワー				設計	設計・工事	工事					295.8	–	港湾海岸管理事業
4	東池尻第2	津波避難道			設計	工事							6.4	3.2	
5	手結南	津波避難道					設計	工事					6.3	3.1	
6	福島第2	津波避難道					設計	工事					14.0	7.0	
7	手結北	津波避難道								設計	工事		9.0	4.5	
8	観音山	津波避難道									設計	工事	9.0	4.5	
9	坪井神社	津波避難道							設計	工事			14.0	7.0	
10	坪井	津波避難道								設計	工事		6.0	3.0	
11	西池尻	津波避難道	設計・工事										5.2	–	緊急防災・減災事業債
12	東池尻	津波避難道	設計・工事												緊急防災・減災事業債
13	福島	津波避難道	設計・工事										6.2	–	緊急防災・減災事業債
14	観音山	津波避難道			設計・工事								16.2	–	緊急防災・減災事業債
15	坪井	津波避難道			設計・工事								7.3	–	緊急防災・減災事業債
16	城山	津波避難道	設計・工事										3.0	–	緊急防災・減災事業債
17	千切	津波避難道								設計	工事		20.0	10.0	

津波避難困難地域 概要図（香南市 夜須地区）



（様式6） 現況図 等 ［高知県香南市 津波避難困難者ゼロプログラム］（5／5）

地区名	野市地区	面積	128.0ha	避難困難者数	745人	区域	香南市野市町

1. 津波避難困難者の解消計画

	地区名称	地区面積 (ha)	避難困難者数 (人)	避難困難者解消目標年度 H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	横井	56.8	281	0	0	0	0	0	0	0	281	-	-
2	下井	48.2	310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	310
3	日吉神社	17.0	56	0	0	0	0	0	56	-	-	-	-
4	上岡山	6.0	98	98	－	－	－	-	-	-	-	-	-
計		128.0	745	98	0	0	0	0	56	0	281	0	310

2. 津波避難施設の整備計画

	地区名称	整備内容	避難困難者解消目標年度 H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	事業費 (百万円)	国費 (百万円)	備考
1	横井	津波避難タワー						調査	調査・工事	工事			199.5	133.0	
2	下井	津波避難タワー								調査	調査・工事	工事	268.2	178.8	
3	日吉神社	津波避難道					調査	工事					8.6	4.3	
4	上岡山	津波避難道	調査・工事										6.4	3.2	集落防災・減災事業費

津波避難困難地域 概要図（香南市 野市地区）

日吉神社 津波避難道
- 避難対象面積 17.0ha
- 1工区 L=63m W=2.0～2.25m
- 2工区 L=26m W=1.5m

下井 津波避難タワー
- 避難対象面積 48.2ha
- 津波浸水深 H=3.0m、到達時間39分
- 想定避難者数 310人
- 避難床面積 310.0㎡（310人×1㎡）
- 避難階高さ 地上7.0m

横井 津波避難タワー
- 避難対象面積 56.8ha
- 津波浸水深 H=2.0m、到達時間42分
- 想定避難者数 281人
- 避難床面積 281.0㎡（281人×1㎡）
- 避難階高さ 地上6.0m

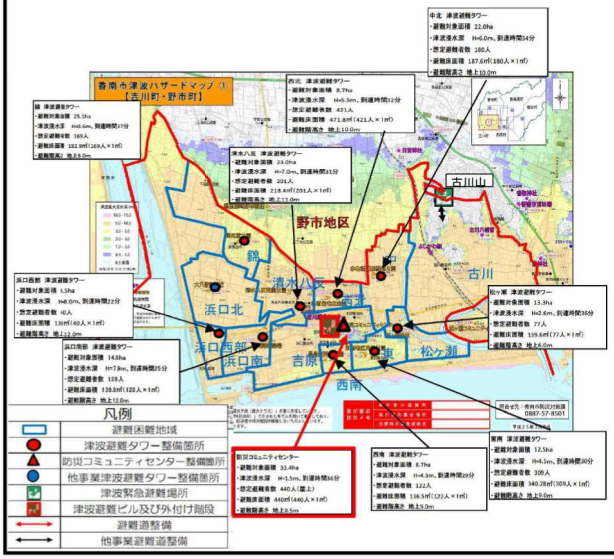
（様式6） 現況図 等 ［防災まちづくり拠点施設］（1／1）

地区名	吉川地区	面積	33.4ha	区域	香南市吉川町

【防災まちづくり拠点施設】吉川防災コミュニティセンター

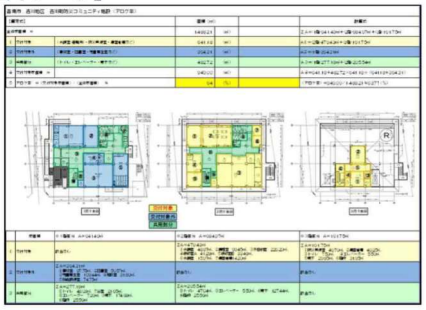
【目的】
津波避難困難地域が存在する吉川地区において、津波避難困難者を解消するため、避難所を兼ね備えた、吉川地区の防災拠点となる施設（吉川防災コミュニティセンター）を吉原地区に整備し、地域防災性の向上及び地域防災力の向上を目的とする。

【施設概要】
平時は吉川地区の地域防災力の向上を図るたの防災訓練や防災学習を実施し防災教育の場として活用する。
（5回／年）
災害時は、吉川地区住民の命を守るため、防災拠点及び一時避難所として活用する。



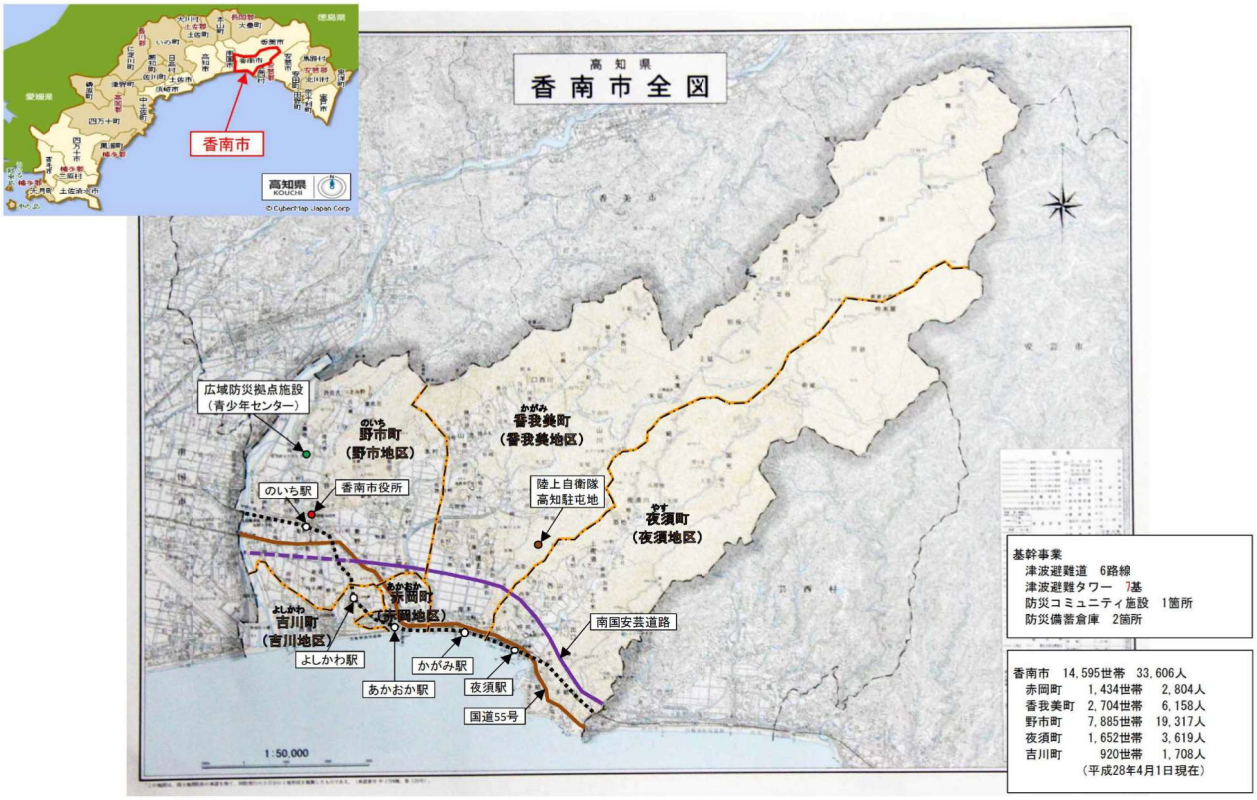
【整備イメージ】

【平面図イメージ】



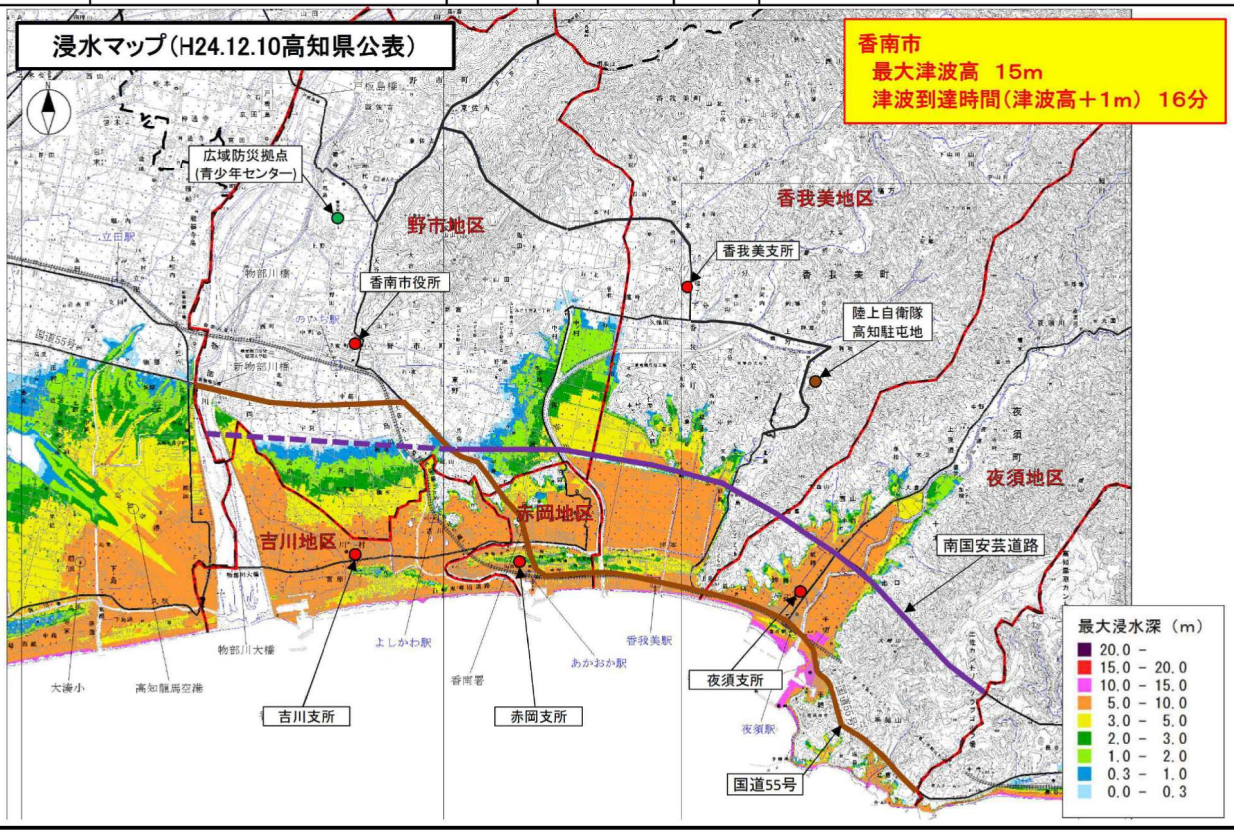
（様式6） 現況図 等（1／22）

地区名	吉川地区外4地区	面積	12,650ha	区域	香南市全域



（様式6） 現況図 等（2／22）

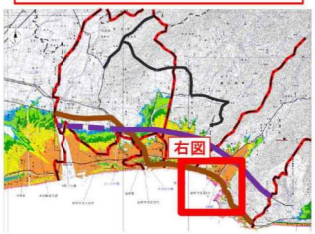
地区名	吉川地区外4地区	面積	1,342ha	区域	香南市全域（津波浸水域）



（様式6） 現況図 等（3／22）

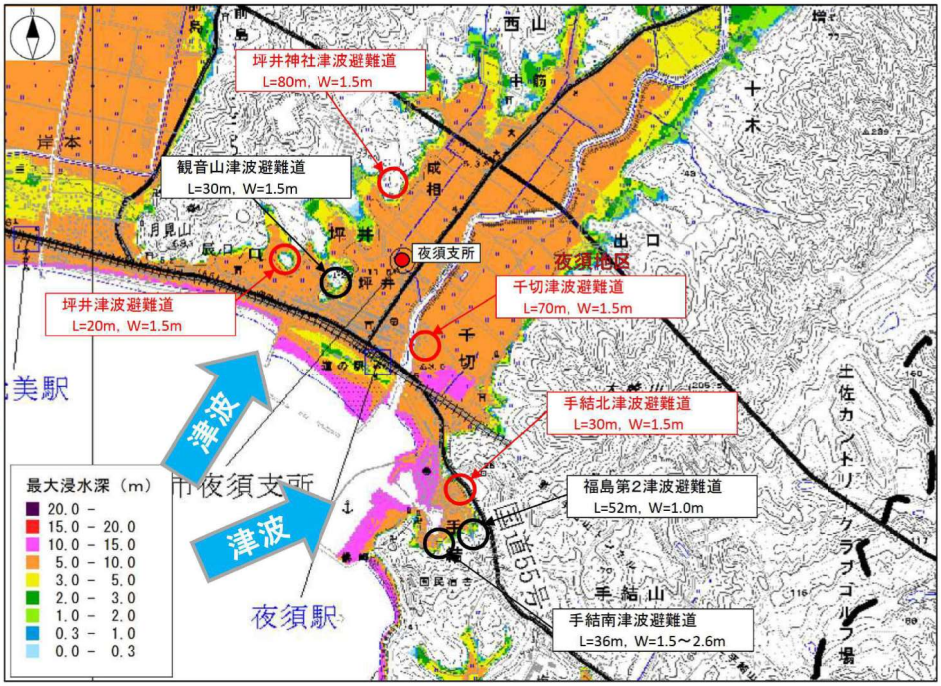
地区名	夜須地区	面積	250ha	区域	香南市夜須町

津波避難道（夜須地区）



整備イメージ

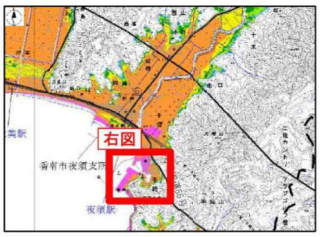
香南市
最大津波高 15m
津波到達時間（津波高＋1m） 16分



（様式6） 現況図 等（4／22）

地区名	夜須地区	面積	1.5ha	区域	香南市夜須町（福島）

福島第２津波避難道（夜須地区）

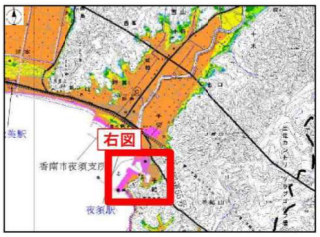


■福島第2津波避難道（福島高台）
延長 L=52m
幅員 W=1.0m
内容 階段工、斜路工、手摺、誘導灯

（様式6） 現況図 等（5／22）

地区名	夜須地区	面積	1.4ha	区域	香南市夜須町（手結南）

手結南津波避難道（夜須地区）

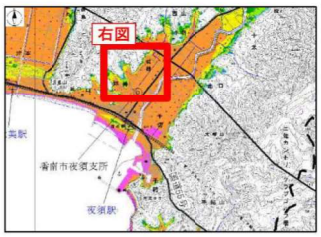


■手結南津波避難道（野中井戸）
延長 L=36m
幅員 W=1.5～2.6m
内容 斜路工、手摺

（様式6） 現況図 等（6／22）

地区名	夜須地区	面積	1.4ha	区域	香南市夜須町（成相下）

坪井神社津波避難道（夜須地区）



■坪井神社津波避難道（坪井神社）
延長 L=80m
幅員 W=1.5m
内容 階段工、斜路工、手摺、誘導灯

（様式6） 現況図 等（7／22）

地区名	夜須地区	面積	2.0ha	区域	香南市夜須町（手結北）

手結北津波避難道（夜須地区）

■手結北津波避難道（海風荘登口）
延長 L=30m
幅員 W=1.0m
内容 階段工、手摺、誘導灯

（様式6） 現況図 等（8／22）

地区名	夜須地区	面積	2.5ha	区域	香南市夜須町（馬越）

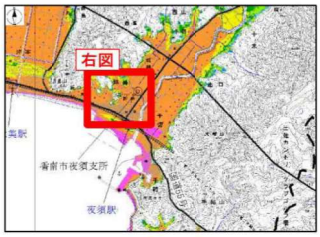
坪井津波避難道（夜須地区）

■坪井津波避難道（馬越高台）
延長 L=20m
幅員 W=1.5m
内容 階段工、手摺、誘導灯

（様式6） 現況図 等（9／22）

地区名	夜須地区	面積	2.5ha	区域	香南市夜須町（西町）

観音山津波避難道（夜須地区）



■観音山津波避難道（観音山）
延長 L=30m
幅員 W=1.5m（現況0.8m+拡幅0.7m）
内容 階段工、手摺、誘導灯

（様式6） 現況図 等（10／22）

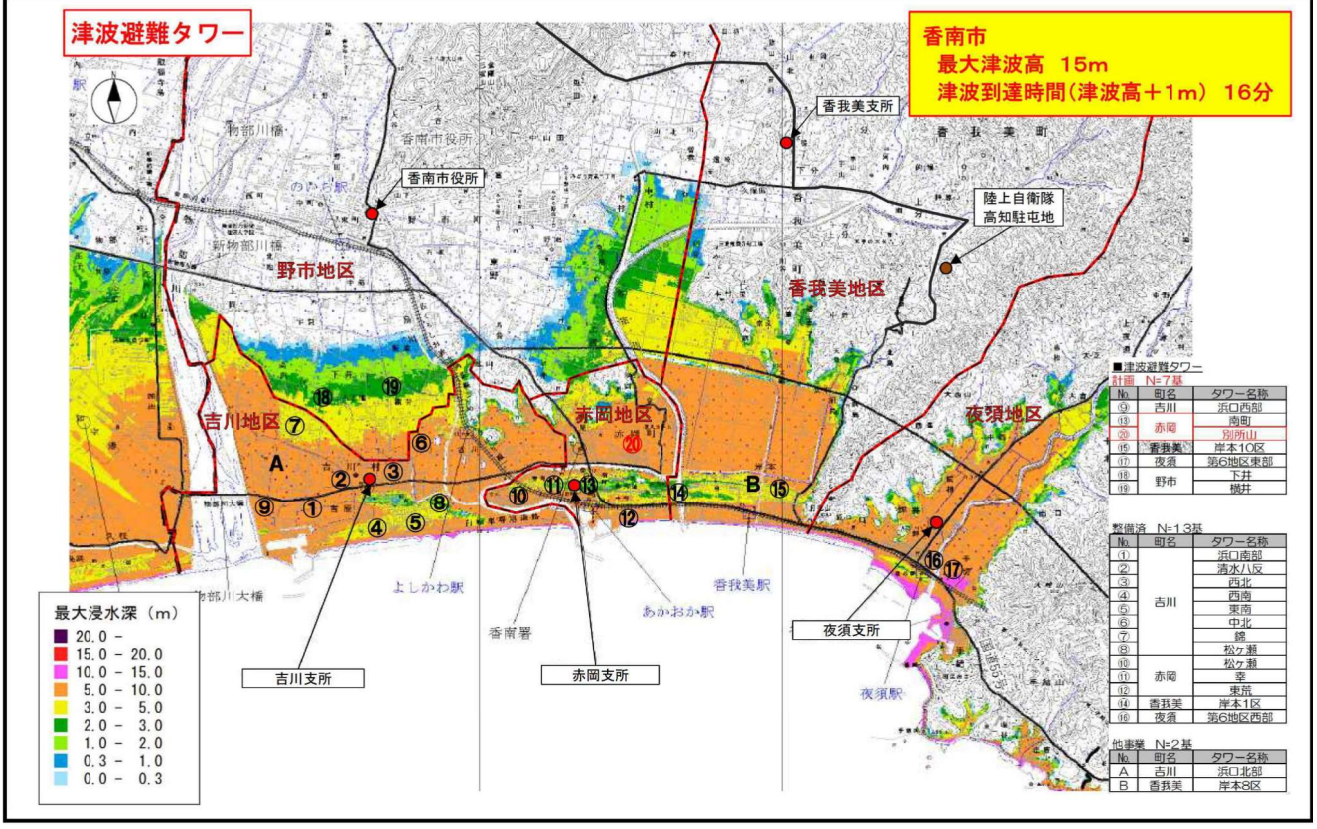
地区名	夜須地区	面積	1.0ha	区域	香南市夜須町（新町東）

千切津波避難道（夜須地区）

■千切津波避難道
延長 L=70m 幅員 W=1.5m
内容 避難道工、誘導灯

（様式6）現況図　等（11／20）

地区名	吉川地区外4地区	面積	1,342ha	区域	香南市全域（津波浸水域）



（様式6）現況図　等（12／22）

地区名	吉川地区	面積	6.5ha	区域	香南市吉川町

（様式6） 現況図 等（13／22）

地区名	赤岡地区	面積	14.1ha	区域	香南市赤岡町

津波避難タワー（赤岡地区）

整備イメージ

■津波避難タワー

計画 N=1基

No.	タワー名称
⑳	別所山

整備済 N=4基

No.	タワー名称
⑩	松ヶ瀬
⑪	幸
⑫	東荒
⑬	南町

（様式6） 現況図 等（14／22）

地区名	香我美地区	面積	6.4ha	区域	香南市香我美町

津波避難タワー（香我美地区）

整備イメージ

■津波避難タワー

計画 N=1基

No.	タワー名称
⑮	岸本10区

整備済 N=3基

No.	タワー名称
⑭	岸本1区

他事業 N=1基

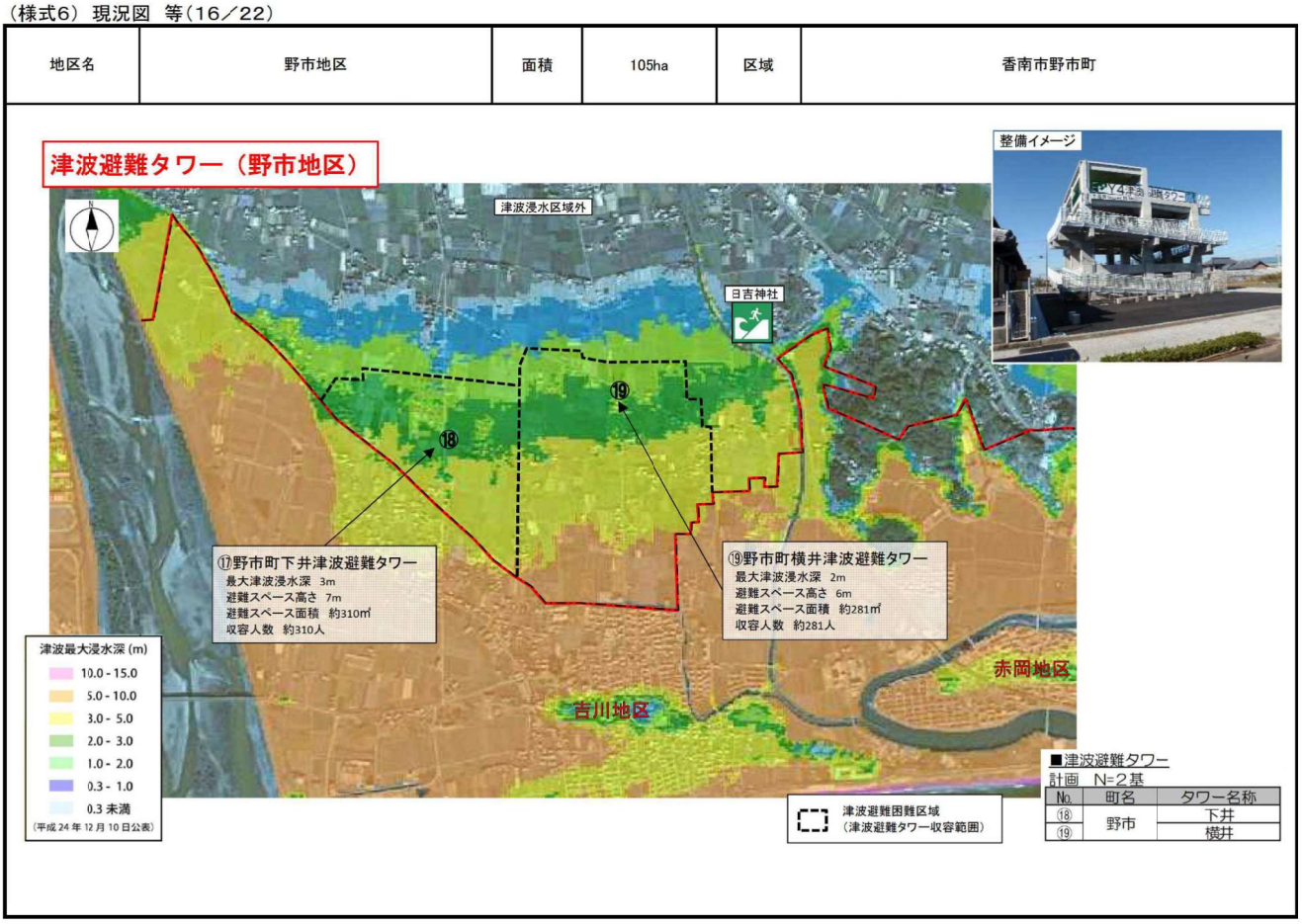
No.	タワー名称
B	岸本8区

（様式6）現況図　等（15／22）

地区名	夜須地区	面積	3.3ha	区域	香南市夜須町

（様式6）現況図　等（16／22）

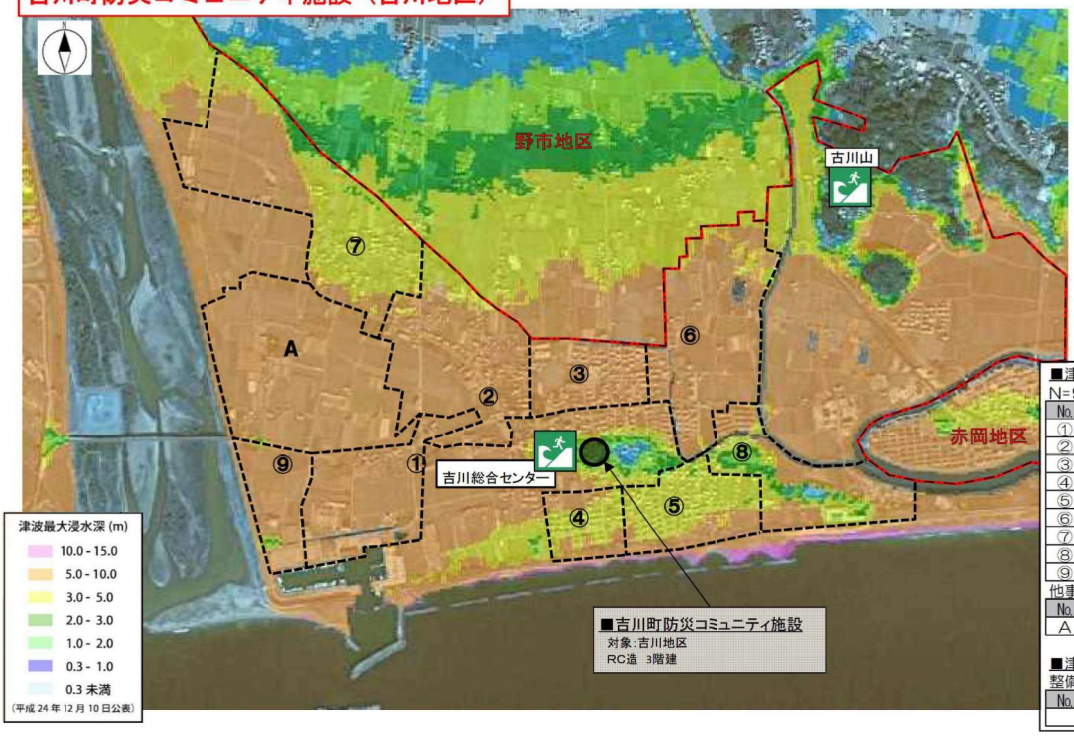
地区名	野市地区	面積	105ha	区域	香南市野市町



（様式6） 現況図 等（17／22）

地区名	吉川地区	面積	425ha	区域	香南市吉川町

吉川町防災コミュニティ施設（吉川地区）



■津波避難タワー
N=9基

No.	タワー名称
①	浜口南部
②	青水八反
③	西北
④	西南
⑤	東南
⑥	中北
⑦	錦
⑧	松ヶ瀬
⑨	浜口西部

他事業 N=1基

No.	タワー名称
A	浜口北部

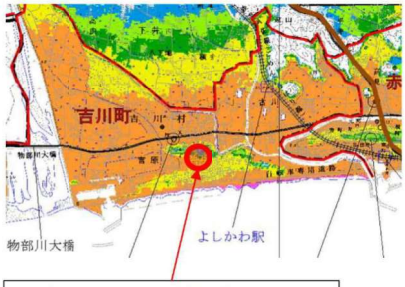
■津波避難ビル
整備済 N=1基

No.	ビル名称
	吉川総合センター

（様式6） 現況図 等（18／22）

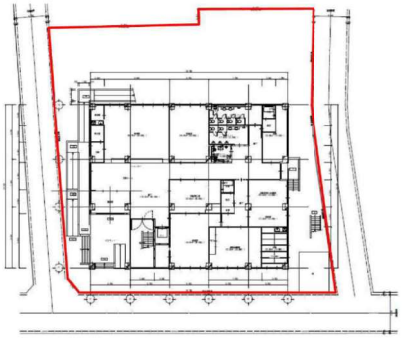
地区名	吉川地区	面積	425ha	区域	香南市吉川町

吉川町防災コミュニティ施設（吉川地区）



■吉川町防災コミュニティ施設
対象：吉川地区
RC造 3階建
1階 約641㎡（事務室・会議室・倉庫）
2階 約685㎡（多目的室・会議室・倉庫）
3階 約162㎡（備蓄倉庫・防災無線室）
（屋上 津波一時避難場所（収容人数460人／㎡））

整備イメージ



（様式6）現況図　等（19／22）

地区名	吉川地区	面積	425ha	区域	香南市吉川町

吉川町防災コミュニティ施設（吉川地区）

香南市_吉川地区　吉川町防災コミュニティ施設（アロケ率）

【算定式】			面積（㎡）			計算式
全体床面積　＝			1,488.21	（㎡）		∑A＝(1階)641.49㎡＋(2階)684.97㎡＋(3階)161.75㎡
①	交付対象	（会議室(避難所)・防災無線室・備蓄倉庫など）	641.18	（㎡）		A①＝(2階)479.43㎡＋(3階)161.75㎡
②	交付対象外	（事務室・図書室・児童厚生室など）	364.31	（㎡）		A②＝(1階)364.31㎡
③	共用部分	（トイレ・エレベーター・廊下など）	482.72	（㎡）		A③＝(1階)277.18㎡＋(2階)205.54㎡
④	交付対象床面積　＝		949.00	（㎡）		A④＝641.18＋482.72×641.18÷（641.18＋364.31）
⑤	アロケ率　＝（交付対象床面積）／（全体床面積）　与		64	（%）		（アロケ率）＝949.00／1,488.21≒63.77（%）

1階平面図　2階平面図　3階平面図

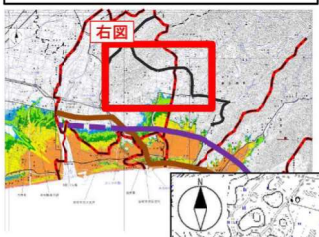
交付対象
交付対象外
共用部分

	床面積	※1階部分　A＝641.49㎡	※2階部分　A＝684.97㎡	※3階部分　A＝161.75㎡
①	交付対象	該当なし	∑A＝479.43㎡ ①会議室　48.87㎡、②調理室　99.45㎡、③多目的室　226.20㎡、④研修室A　41.28㎡、⑤研修室B　33.46㎡、⑥会議室　15.97㎡、⑦備蓄倉庫14.20㎡	∑A＝161.75㎡ ①防災無線室　46.70㎡、②備蓄倉庫　40.25㎡、③トイレ　7.50㎡、④エレベーター　5.50㎡、⑤廊下　29.85㎡、⑥階段　31.95㎡
②	交付対象外	∑A＝364.31㎡ ①事務室　97.75㎡、②図書室　50.57㎡、③児童厚生室　109.44㎡、④相談室　31.80㎡、⑤機能訓練室　74.75㎡	該当なし	該当なし
③	共用部分	∑A＝277.18㎡ ⑥トイレ　48.03㎡、⑦浴室　21.65㎡、⑧エレベーター　7.26㎡、⑨廊下　174.68㎡、⑩階段　25.56㎡	∑A＝205.54㎡ ⑧トイレ　47.04㎡、⑨エレベーター　5.50㎡、⑩廊下　127.44㎡、⑪階段　25.56㎡	該当なし

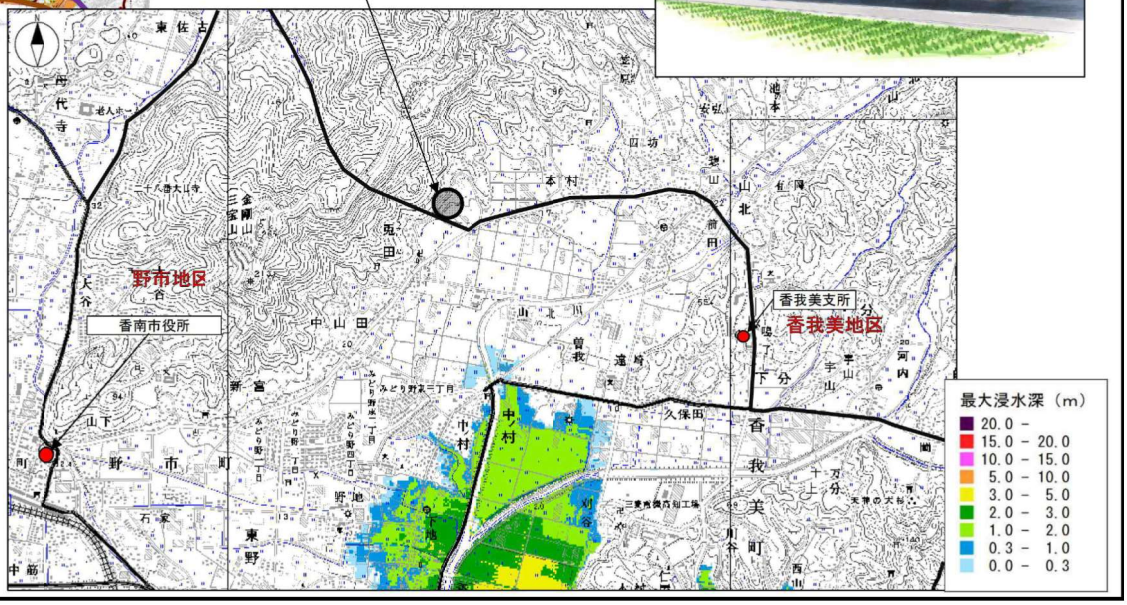
（様式6）現況図　等（20／22）

地区名	野市地区	面積	2,290ha	区域	香南市野市町

防災備蓄倉庫（野市地区）



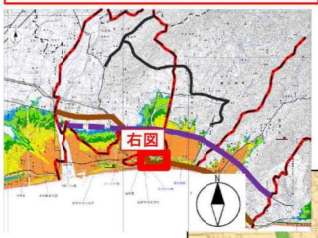
■野市町防災備蓄倉庫
対象：野市地区
品目：飲料水、非常食、毛布、生理用品、おむつ、仮設トイレ、防災用資機材
規模：床面積345.5㎡
構造：鉄骨造平屋建



（様式6）現況図　等（21／22）

地区名	赤岡地区	面積	164ha	区域	香南市赤岡町

防災備蓄倉庫（赤岡地区）



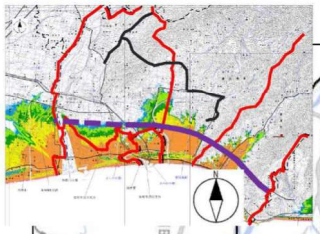
■赤岡町防災備蓄倉庫
対象：赤岡町
品目：飲料水、非常食、毛布、生理用品、おむつ、仮設トイレ、防災用資機材
規模：床面積150㎡
構造：鉄骨造平屋建

整備イメージ

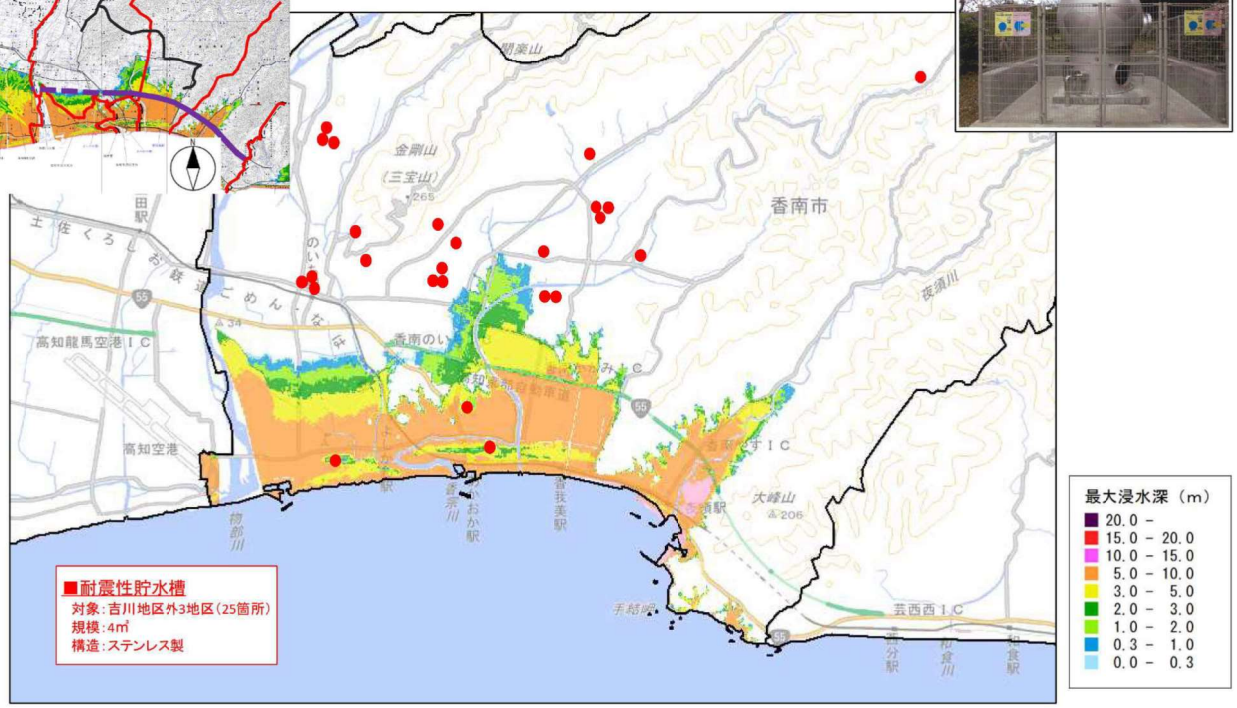
（様式6）現況図　等（22／22）

地区名	吉川地区外4地区	面積	164ha	区域	吉川地区外3地区

耐震性貯水槽（吉川地区外3地区）



整備イメージ

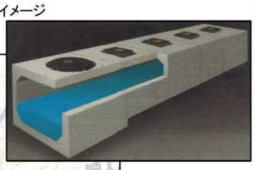


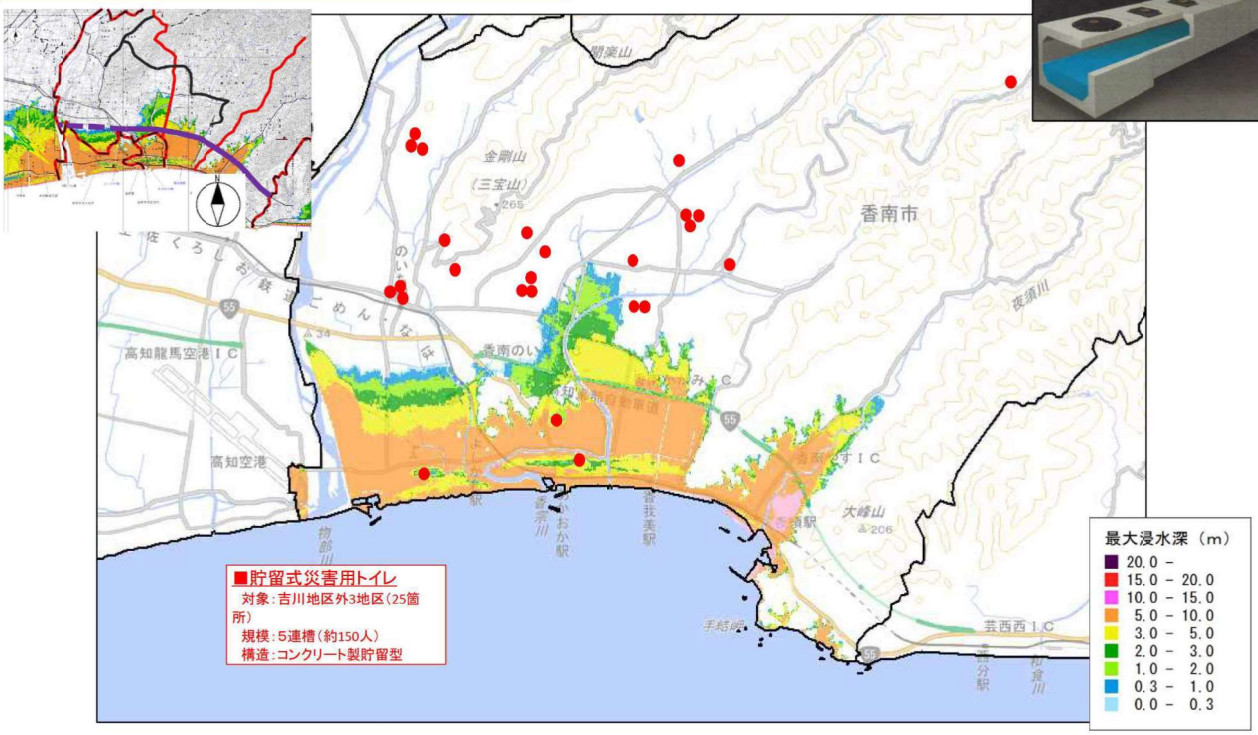
（様式6）現況図 等（22／22）

地区名	吉川地区外4地区	面積	164ha	区域	吉川地区外3地区

貯留式災害用トイレ（吉川地区外3地区）

整備イメージ

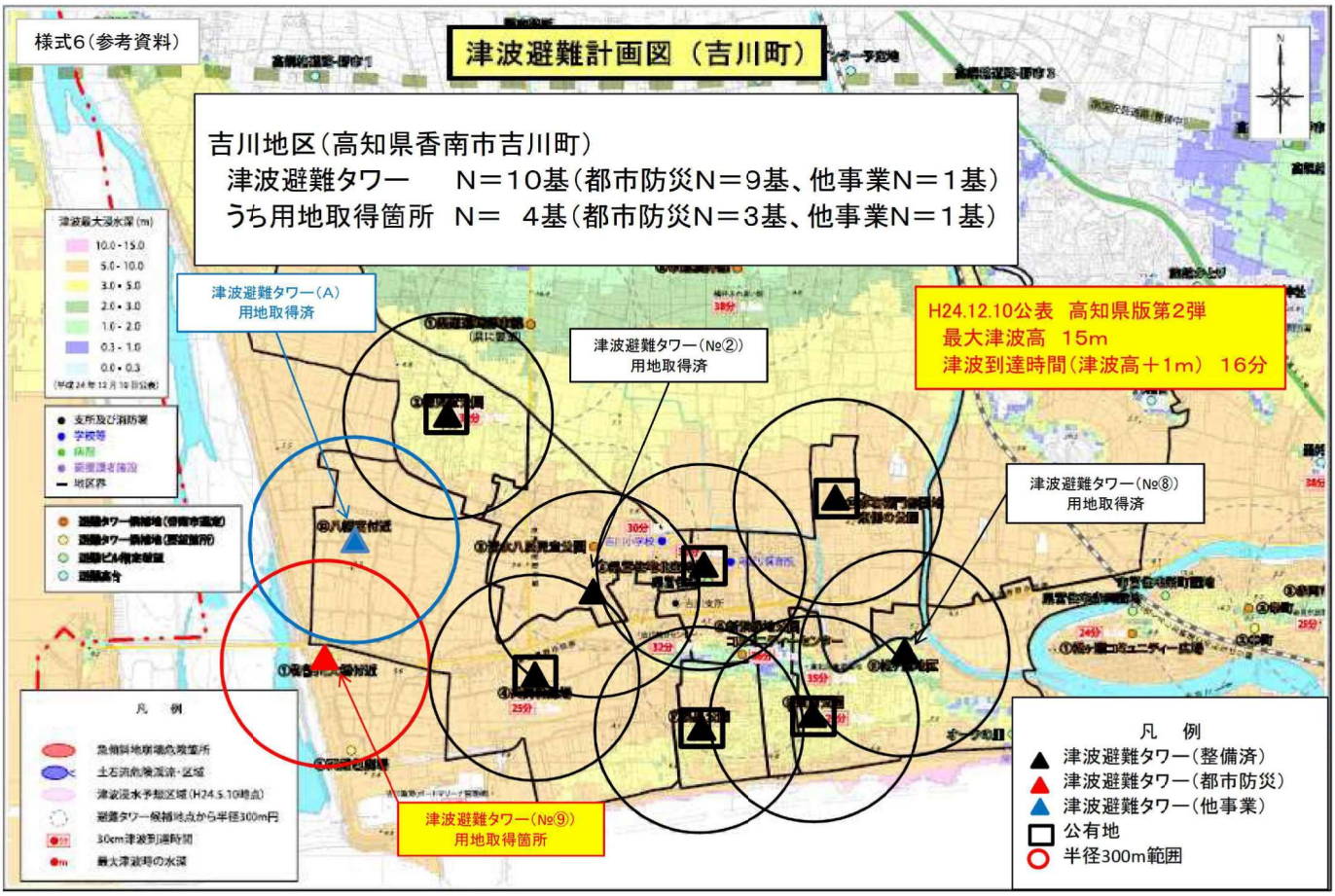




様式6（参考資料）

津波避難計画図（吉川町）

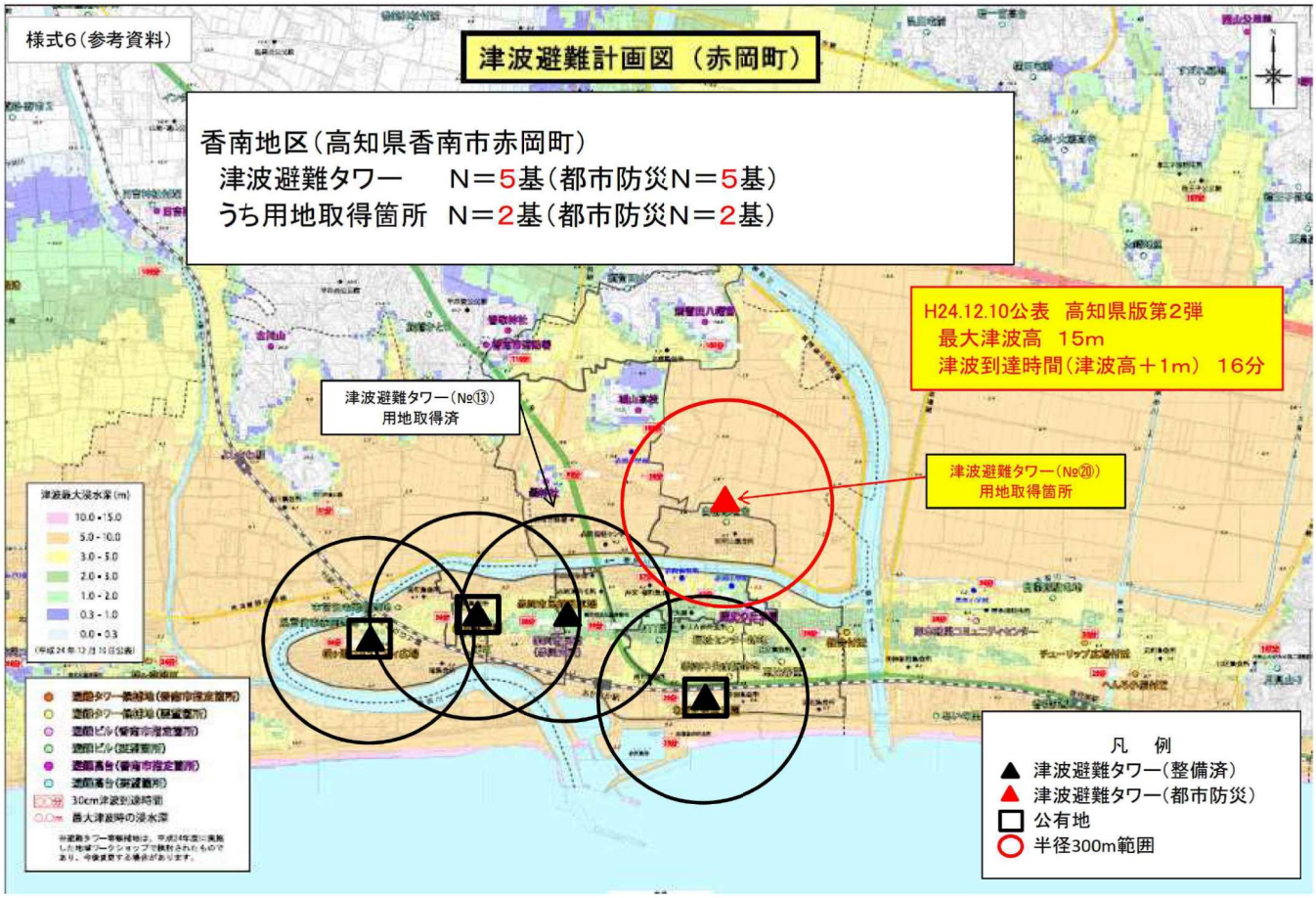
吉川地区（高知県香南市吉川町）
津波避難タワー　　N＝10基（都市防災N＝9基、他事業N＝1基）
うち用地取得箇所　N＝　4基（都市防災N＝3基、他事業N＝1基）



様式6（参考資料）

津波避難計画図（赤岡町）

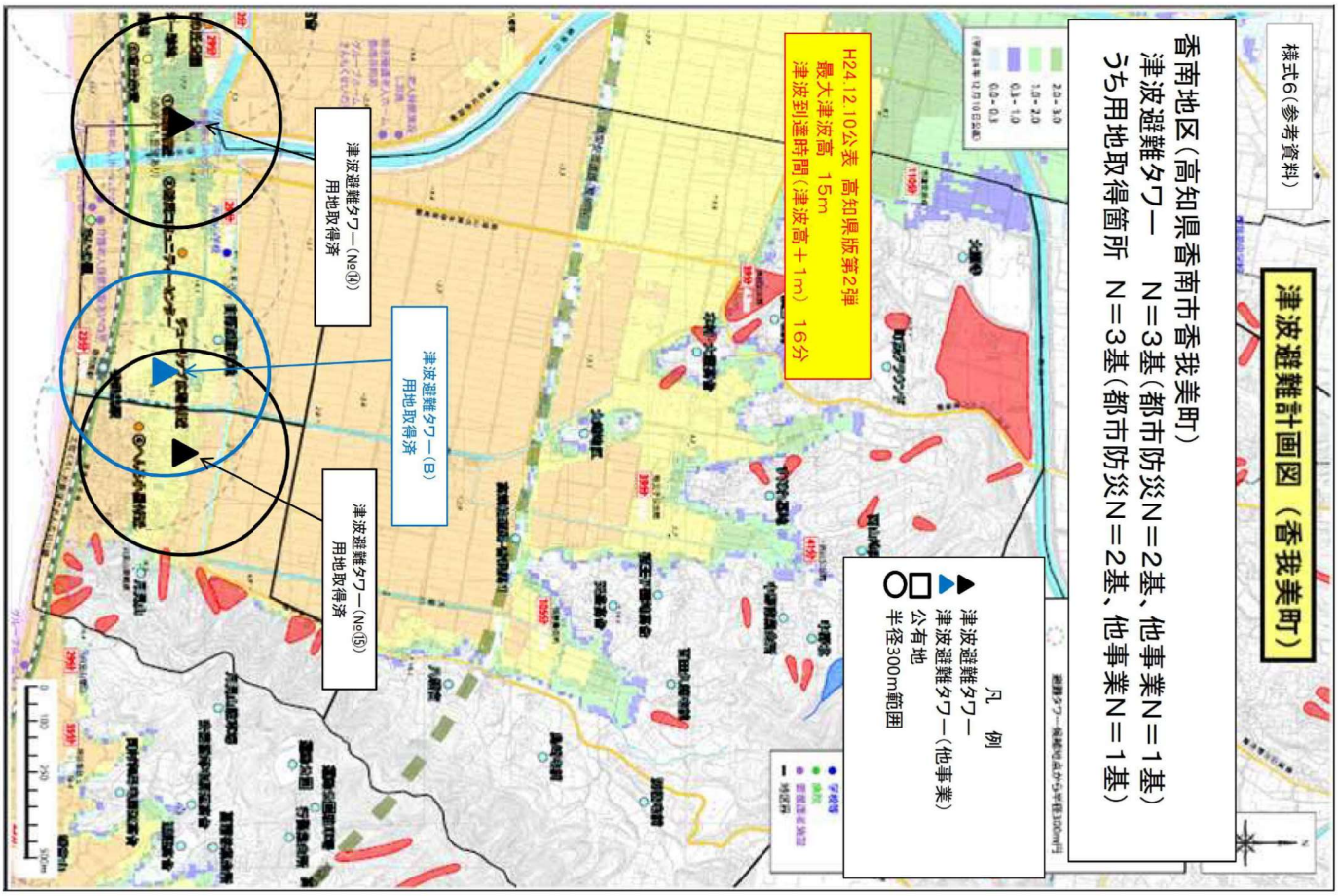
香南地区（高知県香南市赤岡町）
津波避難タワー　　N＝5基（都市防災N＝5基）
うち用地取得箇所　N＝2基（都市防災N＝2基）



様式6（参考資料）

津波避難計画図（香我美町）

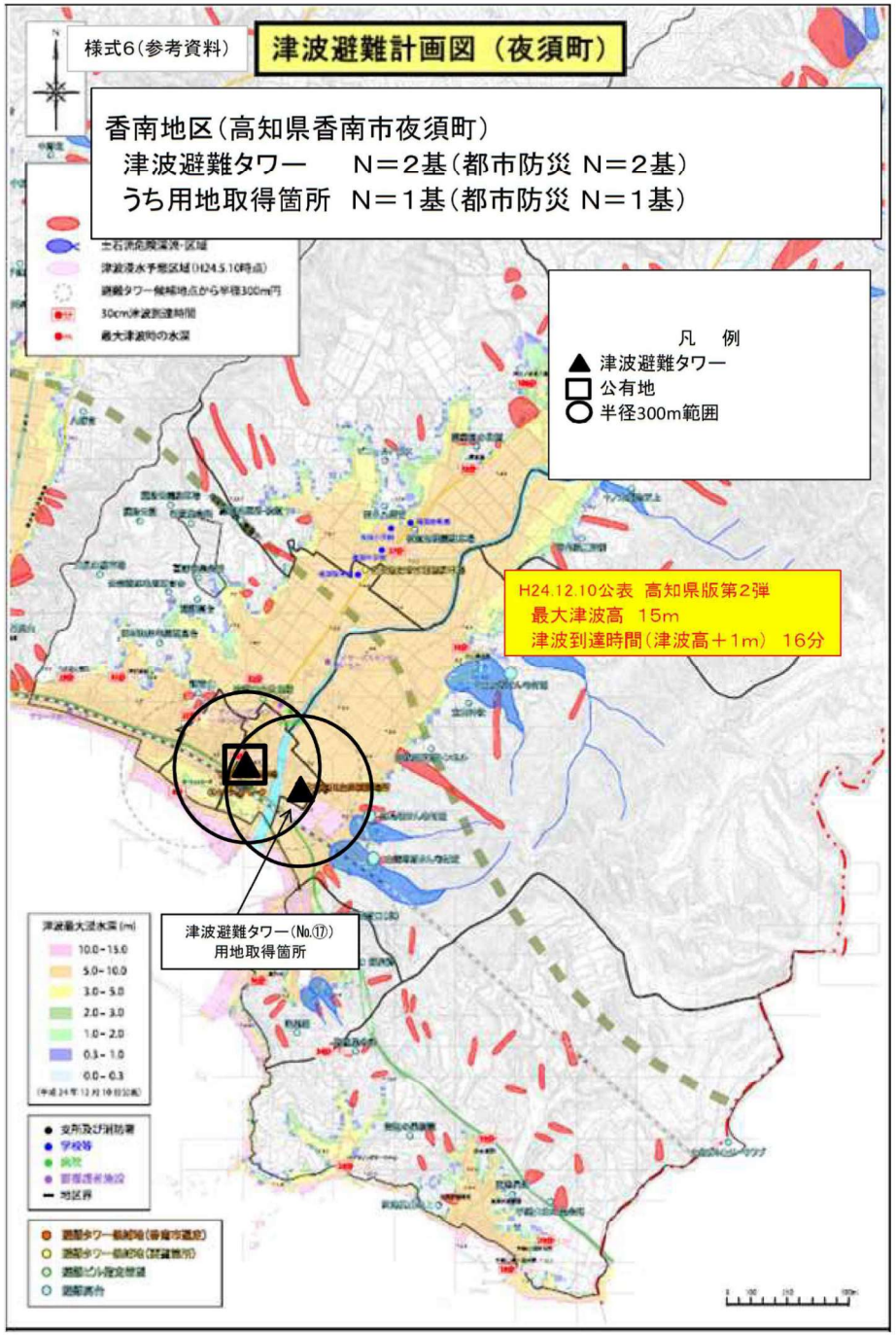
香南地区（高知県香南市香我美町）
津波避難タワー　　N＝3基（都市防災N＝2基、他事業N＝1基）
うち用地取得箇所　N＝3基（都市防災N＝2基、他事業N＝1基）



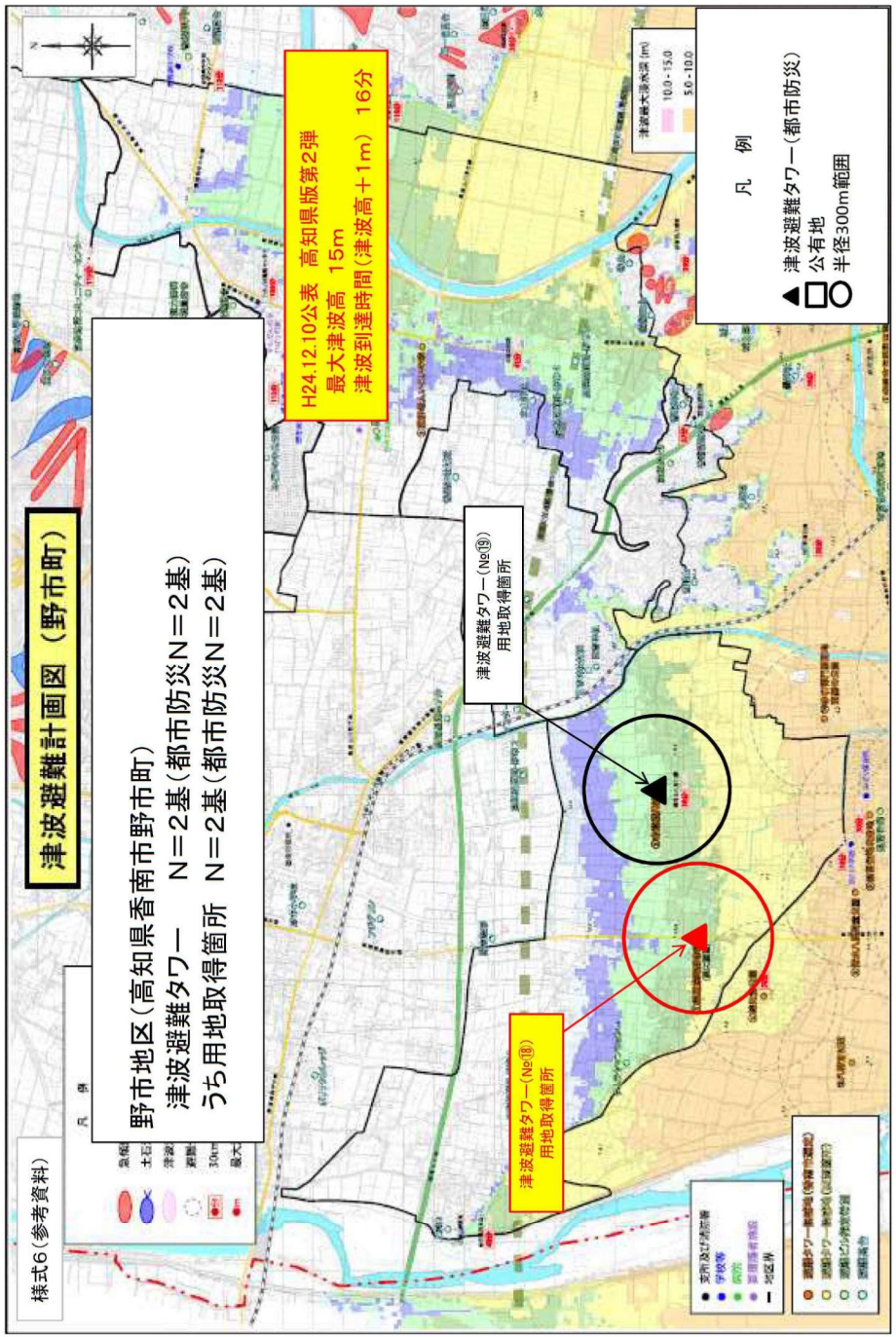
様式6（参考資料）

津波避難計画図（夜須町）

香南地区（高知県香南市夜須町）
津波避難タワー　　N＝2基（都市防災 N＝2基）
うち用地取得箇所　N＝1基（都市防災 N＝1基）



様式6（参考資料）

津波避難計画図（野市町）

野市地区（高知県香南市野市町）
津波避難タワー　　N＝2基（都市防災N＝2基）
うち用地取得箇所　N＝2基（都市防災N＝2基）